



和泉市議会だより



発行：和泉市議会 編集：市議会だより編集委員会（和泉市府中町二丁目7番5号） 電話：0725（41）1551
和泉市議会ホームページアドレス：<http://www.gijiroku.jp/izumi/index.html>

議会の新役員を選出

議長に 逢野 博之 議員
副議長に 服部 敏男 議員



服部副議長



逢野議長

就任のごあいさつ

さて、現在、国における
地方分権改革推進の流れの中
で、地方自治体にとっては非
常に厳しい状況にあります。

私は、このたび第五
十四代市議会議長並びに副議
長の要職に就かせて頂くこと
になりました。誠に身に余る
光栄でありますとともに、責
任の重さを一層痛感いたして
おります。

市民の皆さまには、平素よ
り市議会に対し多大のご協力
を賜り、心より厚くお礼申し
上げます。

といたしましては、市民の皆
さまのために、活力ある住み
やすいまちづくりを進めてい
かなければなりません。その
ためには、市議会本来の機能
であります議決機関としての
役割を十分に発揮し、公正透
明な議会運営とさらなる市政
進展のため、より一層努力し
て参る所存でございますの
で、ご指導・ご鞭撻を賜りま
すよう、よろしくお願い申し
上げ、就任のあいさつとさせ
ていただきます。

第1回臨時会・第3回定例会

第1回臨時会が平成19年8
月24日に開催され、議案2件
が可決されました。平成19年
第3回定例会が9月13日から
10月5日までの23日間の会期
で開催されました。

今定例会では、「和泉市長
の政治倫理に関する条例の
一部を改正する条例制定に
ついて」など、議案11件、
報告4件、意見書3件等が
それぞれ可決等されたほか、

9人の議員から市政全般に
わたる一般質問が行われま
した。また、正副議長をは
じめ各委員会委員、一部事
務組合議会議員などの選
挙・選任が行われました。

なお、平成18年度の各会
計決算認定については決算
審査特別委員会に付託され、
閉会中の継続審査となりま
した。審査の内容等は次号
でお知らせいたします。

議会議長監査委員に

着本 直幸 議員



着本監査委員

監査委員は、市の財務に関
する事務の執行及び経営に係
る事業の管理を監査します。

議会の新しい委員構成

◎は委員長、○は副委員長、委員は議席順に掲載



金児 和子



横山 勝



矢竹 輝久



○原口 裕見



◎大橋 涼子



若浜 記久男



逢野 博之



友田 博文



須藤 洋之進

主な所管事項

- 秘書、政策審議に関すること
- 危機管理に関すること
- 人事、給与に関すること
- 市の総合企画、行政経営に関すること
- 自治振興、広報、市民参加の促進に関すること
- IT推進に関すること
- 人権啓発、国際交流に関すること
- 男女共同参画社会の推進に関すること
- 文書管理、統計、財産管理に関すること
- 工事等の入札、物品の購入に関すること
- 市の財政に関すること
- 市税に関すること
- 出納に関すること
- 消防に関すること
- 選挙、財務事務監査に関すること

総務安全委員会



赤阪 和見



服部 敏男



早乙女 実



○浜田 千秋



◎小野林治三夫



西口 秀光



柏 富久蔵



着本 直幸



森 悦造

主な所管事項

- 戸籍、住民基本台帳、墓地、火葬場に関すること
- 環境保全、生活排水対策に関すること
- ゴミ減量、し尿処理に関すること
- 商工振興、観光に関すること
- 労働政策に関すること
- 農林業振興、農林道事業等に関すること
- 農用地整備事業に関すること
- J・R和泉府中駅前再開発等に関すること
- 公園及び緑化の維持管理、緑化活動の推進に関すること
- 都市計画、まちづくりの推進に関すること
- 建築指導、開発許可に関すること
- 市営住宅に関すること
- 道路、交通政策、河川管理、用地取得に関すること
- 里道、水路に関すること
- 上下水道に関すること

都市環境委員会



山本 秀明



田代 一男



岡 博子



○辻本 孔久



◎原 重樹



飯塚 省二



吉川 茂樹



小林 昌子

主な所管事項

- 保健衛生、健康づくりに関すること
- 各種医療対策に関する事
- 国民健康保険、国民年金に関する事
- 子育て支援、保育所に関する事
- 高齢者福祉、介護保険に関する事
- 障害者福祉に関する事
- 生活保護に関する事
- 幼稚園、小・中学校に関する事
- 生涯学習、スポーツ振興、文化財保護に関する事
- 市立病院に関する事

決算審査特別委員会の設置

9月28日の本会議において、平成18年度一般会計、6特別会計及び2企業会計の決算認定が上程されましたが、慎重な審査に付するため決算審査特別委員会を設置し、閉会中の継続審査となりました。

この審査の結果は、次の第4回定例会で報告されます。

◎は委員長 ○は副委員長

◎柏 富久蔵	○浜田 千秋
早乙女 実	原 重樹
山本 秀明	横山 勝
吉川 茂樹	金児 和子
辻本 孔久	西口 秀光
大橋 涼子	森 悦造
友田 博文	

人事案件

今定例会では、次の方の選任に同意しました。

◆固定資産評価審査委員会委員
藤原 優次氏（和泉市浦田町）

議会運営委員会

議会の円滑な運営と能率的な議事の進行を協議し意見調整を図る。

◎金児 和子 ○横山 勝 矢竹 輝久 原 重樹
山本 秀明 小野林治三夫 吉川 茂樹 辻本 孔久
柏 富久蔵 西口 秀光 浜田 千秋 小林 昌子

一部事務組合

行政の能率化、効率化を図るため特定の事務を関係の市町で共同処理するため設立された公共団体

泉北環境整備施設組合

泉大津市・高石市・和泉市で組織され、し尿処理場、ゴミ処理場、王子川都市下水路、公共下水道の設置や維持管理に関する事務を共同処理する。

原口 裕見 吉川 茂樹 柏 富久蔵
若浜 記久男 森 悦造

泉北水道企業団

泉大津市・高石市・和泉市で組織され、水道用水供給事業を行うための事務を共同処理する。

原 重樹 横山 勝 辻本 孔久
西口 秀光 須藤 洋之進

南大阪湾岸北部流域下水道組合

堺市・岸和田市・泉大津市・貝塚市・高石市・忠岡町・和泉市で組織され、南大阪湾岸北部流域下水道施設の維持管理に関する事務を共同処理する。

早乙女 実 小野林治三夫 大橋 涼子

第1回臨時会

平成19年第一回臨時会が8月24日に開催され、市長より上程された議案2件について慎重に審議され、いずれも原案どおり可決されました。

工事請負契約締結について（市立石尾中学校体育館建替工事）は、今年第二回定例会で可決されましたが、契約の相手方より契約締結辞退願が提出されたことにより、本臨時会に再上程されたものです。議員からは、

入札から契約に至る経過の中でもっと改善すべき点があるのではないかと、学校体育館の竣工が遅れることに生徒への支障はないか等活発な議論が展開されました。また、住居表示の実施に伴う関係条例の整理に関する条例制定については、池上

町地域住居表示の実施により公共施設の所在地等の表示変更を行なうものです。



第1回臨時会議決結果一覧表

件名	付託委員会	結果
● 工事請負契約締結について （市立石尾中学校体育館建替工事）	可決 （賛成多数）	可決 （賛成多数）
● 住居表示の実施に伴う関係条例の整理に関する条例制定について	可決 （全会一致）	可決 （全会一致）

第3回定例会

常任委員会
審査報告

第3回定例会で上程された議案は各所管委員会に付託され審査が行われました。ここでは紙面の都合上、それぞれの委員会での質疑の一部を掲載しています。

総務安全委員会

和泉市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例制定について

【委員】公選法による市長が選挙運動用ビラを出せる枚数と、ビラの配布場所の確認をいただきたい。また、ビラに係るいわゆる証紙発行費用は自治体負担ということになってくと思うが、

どれくらいを試算しているのか。あわせて各自治体の動向についても教えてほしい。

【理事者】選挙運動用ビラの枚数については、市の選挙については1万6,000枚、配布場所については、候補者の選挙事務所内、講演・演説の会場内、または街頭演説の場所、そして新聞折り込み等による頒布が可能となっている。ビラの証紙代について

第3回定例会議決結果一覧表

件名	付託委員会	結果
● 工事請負契約締結について （上伯太線橋梁工事）	総務安全 常任委員会	可決 （全会一致）
● 和泉市長の政治倫理に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務安全 常任委員会	可決 （全会一致）
● 和泉市職員の給与に関する条例及び和泉市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務安全 常任委員会	可決 （賛成多数）
● 和泉市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例制定について	総務安全 常任委員会	可決 （全会一致）
● 南大阪湾岸北部流域下水道組合規約の変更について	都市環境 常任委員会	可決 （全会一致）
● 和泉市下水道条例の一部を改正する条例制定について	都市環境 常任委員会	可決 （全会一致）
● 和泉市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	厚生文教 常任委員会	可決 （全会一致）
● 平成19年度和泉市一般会計補正予算（第2号）	各所管 常任委員会	可決 （賛成多数）
● 平成19年度和泉市一般会計補正予算（第2号）に対する修正案	否決	否決
● 平成19年度和泉市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	厚生文教 常任委員会	可決 （全会一致）
● 固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	同意
● 平成18年度和泉市一般会計決算認定について	決算審査 特別委員会	継続審査
● 平成18年度和泉市国民健康保険事業特別会計決算認定について	決算審査 特別委員会	継続審査
● 平成18年度和泉市老人保健事業特別会計決算認定について	決算審査 特別委員会	継続審査
● 平成18年度和泉市公共用地先行取得事業特別会計決算認定について	決算審査 特別委員会	継続審査
● 平成18年度和泉市公共下水道事業特別会計決算認定について	決算審査 特別委員会	継続審査

は近隣市に確認したところ、1人あたり約2万5,000円程度かかっていると聞く。近隣市の条例制定の状況については、高石市が3月、貝塚市、阪南市、泉南市については6月議会に上程、泉大津市、岸和田市については、9月議会において上程、泉佐野市はこの12月議会に上程されるということである。

都市環境委員会

和泉市下水道条例の一部を改正する条例制定について

【委員】郵政民営化による日本郵政公社の解散及び民営化に伴い、郵政事業に係る占用物件の占用料に関して、所要の措置を講ずる必要があるのだということだが、まずこの占用物件そのものというのは何なのかということ、どの程度それがあるのかということ等を答えてほしい。

【理事者】占用物件というのは、郵政事業で行うポストというところで考えている。現在、下水道敷地内の中にはそのポストは一基も存在しないというところである。

【委員】今回のこの条例改正からすると、民営化されたら、これから占用料を取ることができるといふふうになるということだと思いが、占用料を取っていく方向なのかどうか。そういう方向性が決まっておれば教えてほしい。

【理事者】国・府及び他市の動向を見ながら決めていきたいと思っているが、本市において占用料の徴収についてはまだ未定である。

厚生文教委員会

平成19年度和泉市一般会計補正予算（第2号）について

【委員】この補正の社会福祉協議会補助金追加の中身内容と金額284万8千円の内訳を示してほしい。

【理事者】社会福祉協議会の事業計画の重点目標である小地域ネットワーク活動の充実並びに組織体制の強化及び自主財源の確保を図るため、常勤理事の設置に伴う補助金追加である。金額の内訳は理事の役員報酬の半年分で、本人支給額250万と事業主負担34万8,000円で計284

万8,000円となる。

【委員】常勤理事を新設するというところで、こういう取り組みをしていくという考えがあれば聞かせてほしい。

【理事者】常勤理事の新設により、組織体制の強化に向けての地域住民主体の福祉への推進を図るということで、地域福祉で進めているコーディネートターとかワークショップ等に参加しながら、ニーズ調査及び意見を集約し、社会福祉協議会の発展、地域福祉に努めることを考える。

一般質問



今定例会では9人の議員から市政全般にわたる一般質問が行われました。

ここでは紙面の都合上、一部を要約して掲載しています。

市の情報発信について

【議員】昨今、携帯電話でテレビが見れたり自宅でインタ

●平成18年度和泉市市街地再開発事業特別会計決算認定について	決算審査特別委員会	継続審査
●平成18年度和泉市介護保険事業特別会計決算認定について	決算審査特別委員会	継続審査
●平成18年度和泉市和泉診療所事業特別会計決算認定について	決算審査特別委員会	継続審査
●平成18年度和泉市水道事業会計決算認定について	決算審査特別委員会	継続審査
●平成18年度和泉市病院事業会計決算認定について	決算審査特別委員会	継続審査
●空港問題に関する緒問題について (空港問題対策特別委員長報告)	終了決定	

その他、監査報告12件、報告4件、議会役員選挙関連議案、意見書3件が可決・同意等されました。

インターネットを活用して最新のニュースから買い物をはじめ様々な情報を入手できる環境が整ってきている。今後、市は情報を積極的に発信していくことが大事であると考えているがこの点について伺いたい。

【理事者】第4次総合計画では、公民協働が大きな柱となっている。総合計画の基本構

想にも行政が果たす役割の3項目に、積極的に行政情報を発信することを明記している。しかし、発信する情報量

には各課ばらつきがあったり、或いは更新頻度が少なかったりなど今後の検討課題が多くあることを認識してい

る。また、個別の制度などの情報等につきましても、難しい文章だけで情報を提供するのではなく、イラストを交えたりとか市民の起点に立った考え方で情報発信できるように今後、マネジメントを含めて検討していきたい。

【議員】積極的に、自らしっかり情報発信できるようにお願いする。



視覚障害者等情報支援について

【議員】現在、視覚障害者は全国で約三十万人で、その中で点字が読める人は一〇%弱にとどまっている。そこで厚生労働省はこうした「情報環境の改善」と「情報格差」を改善する為、「活字読み上げ装置」を日常生活用具として認定した。これはSPコードを即時に音声によって読み上げる機器で、八〇〇字分の情報が記憶されたSPコードを紙による情報に添付することにより視覚障害者の方にも日常的、即時的に情報が提供出来るという新しい技術である。社会福祉法人日本盲人会連合、及び日本視覚障害情報普及支援協会が、一昨年からSPコードの普及を目指し「紙による情報バリアフリー化推進運動キャンペーン」を展開している。本市の認識と今後の取り組みについて聞きたい。

【理事者】SPコードについては視覚障害者に対する情報バリアフリー化を推進するものと認識している。今後は周知も含め、研究・検討してまいりたい。

乳幼児医療費助成について

【議員】乳幼児医療費助成の拡充について平成17年第3回定例会にて質問したがその後の府下各市の状況はどうか。

【理事者】他市の状況は、対象年齢が就学前で、所得制限無しの市が5市、就学前で所得制限有りの市が5市、他に3市が就学前までの引き上げを検討中。

【議員】今後本市が対象者を就学前とし、所得制限を撤廃した場合と20年4月から患者の窓口負担が3割から2割になった場合の影響額はどうか。

【理事者】対象年齢の引き上げにより、影響額は、約6、800万円の負担増、所得制限撤廃により約1、700万円負担増となる。窓口負担変更により約3、000万円の負担減となる。

【議員】子育て支援・少子化対策を重要な施策と認識するのであれば本市も就学前に引き上げ、所得制限の撤廃は。

【理事者】20年度の予算に乳幼児医療費助成、不妊治療費助成、妊婦無料検診の拡大等総合的に判断し、何らかの形で予算化に努める。

アセットマネジメントについて

【議員】アセットマネジメントとは、自治体が保有する全ての公共施設を経営的視点から総合的に企画、管理、活用、処分する取り組みである。市において補修維持の履歴を記した管理台帳や管理システムがあるか。又庁舎や小、中学校の耐震補強や改修費予測はどれくらいか。

【理事者】道路施設、教育施設等において紙ベースの台帳は整備しているが維持補修の履歴は無い。情報機を活用した管理システムは必要と認識するが財政的に難しい。庁舎の改修には約10億円が必要であり、今後早急に庁舎のあり方の対応方針を定めていきたい。教育施設は152棟のうち28棟をAランクと位置づけ補強工事をし、全体費用の予測はしていないが1棟平均は4、500万円である。

【議員】厳しい財政の中、毎年維持補修費が約7億円かかっている。新たな社会基盤を作る時代からそれを維持し活用する時代である。市長の考えは。

【理事者】維持管理費を有効に使うために有効な手段の一つである。研究していきたい。

和泉市立病院の現状と今後について

【議員】18年度の病院決算を見ると、12億8千万超の純損失、累積欠損金は51億4千万円超となっている。又救急の受け入れ率は、15年度で41・3%、19年度では12・5%と大きく落ち込んでいく。今後の病院改革の進め方と、民営化等への経営形態見直しの考え方はどうか。

【理事者】経営改革委員会の答申を基に、24年度までの5カ年で単年度収支現金ベースでの黒字化を目指していく。又、経営形態見直しについては、実施計画の見極めながら適切に判断していく。

【議員】公立病院の使命として救急医療や高度医療等の不採算部分はカバーしなくてはならないが、その原資は市からの繰入金で補っている。仮にこの部分を民間病院に委託すれば、今のような経営リスクまでも背負いこまなくてすむ。市立に拘るあまり赤字を大きくさせ、市財政に重大な影響を与えない為にも、経営形態見直しの判断が、遅きに失する事のないよう意見する。

少人数学級の実現を

【議員】市長公約の「少人数学級」は大阪府が17・18年度に「効果調査」している。市内の対象校の結果と評価を聞きたい。また市独自で対応する場合の課題と「少人数学級」への考え方を聞きたい。

【理事者】市内十校が研究指定校で、学習面、生活面、保護者の反応のいずれにおいても大阪府報告と同様の効果数字が出ており、少人数学級編制で、基礎学力の定着、安定した学校生活、学校と保護者との信頼関係などに効果があったと考えている。課題は、教室確保（空き教室がなければ校舎増築やプレハブ対応）備品等整備と需用費増、教員確保（市単費採用となり給与条例等整備が必要）があり、その上で府教育委員会の認可となる。今後大阪府の動向を踏まえ、施設状況、児童数の推移、人的配置なども考慮し、市独自の低学年における少人数学級の実現に向け、具体的に準備をして行きたい。

【議員】国・府にもはたらかかけ実現するよう要望する。

市長の政治姿勢について

【議員】 2年目の折り返しを迎えた。その間初デビューから様々な角度から疑問点を指摘してきた。「事案は議会、ホームページ参照」直近では、17年の市長選挙の収支報告書に嘘の記載がある事が発覚、放映・報道された。この事は先の議会でも体育館の随意契約において助言を頂いたことはないかと質問した。この方を会社員と偽って記載した事の実を聞かせてほしい。お金を渡したFさんは「市長が勝手にした」と言っている。

【理事者】 私の認識不足で、ご指摘を受けて始めて気がついた。職業については報告を修正したい。

【議員】 市長の姿勢は社会福祉協議会への介入、他市の行政まで迷惑を掛ける等スキャンダルが多い。「広報いずみ」8月号に掲載された市長の公約は税金を使った事前運動ではないかと指摘した。「マニフェスト」の言葉、意味も知らず連発。答弁する時は理解出来るように説明してほしい。また、答弁される時には、十分気をつけてほしい。

市設墓地について

【議員】 現在の市設墓地の使用条件では、和泉市で生まれ育ったとしても、両親の田舎にお墓がある場合、応募できない事になっている。この際、一定の条件整備を考え、市設墓地の応募条件緩和をお考えただけなのか。

【理事者】 現在、一定厳格に運用しており、現時点では困難だと考えている。しかし、今後、順次第三期分の公募を行う中で、需給バランスの動向を見ながら、再検討を行いたいと思う。

【議員】 お墓に対して、私達は、特別な思いがあると思う。和泉市には、これからも多くの方が転入されてこられるはずである。行政の条例や規則の不備の谷間で困っている人がある。この際、市設墓地の応募資格について、出来る限り早い段階で、再検討して、柔軟な対応をしていただくことを強く要望する。

和泉中央駅周辺整備について

【議員】 和泉中央駅周辺整備で、シビックセンターの分譲状況及び今後の取組みは。また、駐輪場整備計画に向けたアンケート調査の結果は。

【理事者】 H17年度に計画を見直し、現在駅南ブロックは100%近い契約率、病院・暫定駐車場の北ブロックは7・4%の契約率で、今後施設誘致を都市再生機構と取組む。アンケートは160名（利用者の約1割）から回収。屋根設置・パンク修理・照明・駐輪数の増加等の要望があった。

【議員】 イズミヤ横のアミューズメント施設の内容は。また北ブロックの土地売却にあたり、現在の暫定駐車場の機能は確保できるか。

【理事者】 換金性のある遊技場等は含まない。暫定駐車場機能の確保は都市再生機構に要請・協議していく。

【議員】 駐輪場は利用者の要望に叶ったものになるよう努力を要望する。また泉北高速鉄道に駐輪場整備費の負担を求めることと自動二輪車の駐車スペース設置の考えはないか。

【理事者】 いずれも検討したい。

その他の質問項目

- 情報の取り扱いについて
- 保育園施設について
- 住宅の耐震診断・耐震改修の促進について
- 泉州東部農用地整備事業
- 後期高齢者医療保険制度について
- 職員の能力向上に向けた人事評価と能力、実績の考え方について
- 陶磁器食器の導入について
- 市民参加の防災まちづくり
- 市有地財産売却について
- 災害時におけるペット保護について
- 要約筆記について
- 学校図書館司書ボランティアについて

意見書

今定例会では次の意見書3件を可決し、内閣総理大臣や関係する各大臣等に送付しました。

- ◆道路整備の推進及びその財源確保に関する意見書
- ◆保険でよい歯科医療の実現を求める意見書
- ◆いじめ・不登校対策のための施策を求める意見書

トピックス

子ども議会



今年で9回目を迎える「和泉市子ども議会」が去る8月23日に開催され、市内の各小学校を代表する23人の小学生議員が和泉市のまちづくりについてテーマ別にグループで話し合い、市長はじめ理事者に対して活発に質問し、意見表明を行いました。

研修会に参加しました

大阪府南部市議会議長会主催による議員研修会が開催され、本市議会からも多数の議員が参加しました。

日程：平成19年7月30日(月)

場所：貝塚市民文化会館コスモシアター

講演：「自治体大激動時代の自立経営と人材育成」

講師：早稲田大学政治経済学術院

教授 稲継 裕昭氏

議員の年賀状・寄付は 禁止されています

公職選挙法により年賀状などの時候のあいさつ状(答礼のための自筆のものを除く)を出したり、寄付を行うことが禁止されています。市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



傍聴してみませんか

場所：議場 本館3階(入口は本館2階税務室資産税横)

：委員会室 別館3階

定員：議場 40席

(車いすスペース3台分)

：委員会室 7席

(音声傍聴 10席)



市議会では、市民の皆さまの生活に直結した問題が議論されています。市政を身近に感じていただくためにも、ぜひ傍聴してください。

傍聴は、備え付けの傍聴券に住所、氏名等をご記入いただくだけで簡単にできます。

いずれも、開会予定時刻の15分前から先着順に入室できますが、定員を超える場合は抽選となりますのでご了承ください。

傍聴者数のお知らせ

平成19年第1回臨時会の傍聴者数

8月24日(5人)

平成19年第3回定例会の本会議傍聴者数

9月13日(3人)、26日(13人)、27日(11人)

28日(4人)、10月2日(0人)、4日(1人)

5日(0人)

合計32人

第4回 定例会の予定

平成19年第4回定例会は、次の日程で開催される予定です。なお、議事の都合により日程や開会時間等が変更される場合もありますので、詳しくは市議会事務局までお問い合わせください。

電話：0725・41・1551(内線1722)

日程	会議	場所	開会時間
11月26日(月)	議会運営委員会	委員会室	午後1時
12月3日(月)	本会議(議案審議)	議場	午前10時
12月4日(火)	厚生文教委員会・協議会	委員会室	午前10時
12月5日(水)	都市環境委員会・協議会	委員会室	午前10時
12月6日(木)	総務安全委員会・協議会	委員会室	午前10時
12月7日(金)	議会運営委員会	委員会室	午後1時
12月12日(水)	本会議(一般質問)	議場	午前10時
12月13日(木)	本会議(一般質問)	議場	午前10時
12月14日(金)	本会議(議案審議)	議場	午前10時

編集後記

今定例会で行われた議会役員の改選に伴ない、編集委員会のメンバーも一新しました。

市民の皆様には議会活動をより分かりやすくお知らせするため、紙面の充実に努めて参ります。なお、本号では、第1回臨時会・第3回定例会を編集いたしました。

(◎は委員長、○は副委員長)

◎浜田 千秋

○岡 博子

小野林 治三夫

吉川 茂樹

飯塚 省二

辻本 孔久

若浜 記久男

2100
再生紙100%使用



PRINTED WITH
SOY INK